

新たな感染症とともに



「久しぶりのおいしい給食ありがとう」

6月22日から、ようやく通常に近い献立での給食になりました。ご家庭でも朝・夕食の栄養バランスを調整するなど、ご協力いただきありがとうございます。

ある学校の給食用運搬車に、空っぽになった食缶と一緒に、子どもたちからの手書きのメッセージが添えられていました。「野菜たっぷりの温かい給食がうれしかった」という素直な気持ちに、調理員をはじめ教職員も元気をもらいました。

本検討会議では、子どもたちが安心して学校生活を送り、たくさんの「楽しい」「うれしい」を1日でも早く感じてもらえるよう検討を重ねています。その内容の一部をご紹介します。



皆様の疑問や不安にお答えします ※Q1～Q11は、検討会議だよりVOL.1～3に掲載されています。

Q12 中学校では部活動を再開しましたが、各学校ではどのようなことに気を付けて活動しているのですか？

中学校の部活動は、6月15日から再開しました。これまで以上に生徒の健康状態を確認し、無理なく安全に行うよう配慮しています。活動は、学校の再開後間もないこと、また、気温や湿度が上昇し始めた時期と重なっていたため、体を慣らすことから始めました。運動中はマスクを着けていないので、可能な範囲で人との距離をとること、対面時にはあまり大声を出さないことなどに気を付けました。段階的に運動量を増やし、6月29日からは試合形式での練習も再開したので、ほぼ通常どおりの活動に戻っています。

合唱や吹奏楽については飛沫が飛ぶことを考慮し、室内で距離をとって個別練習を行ったり、日陰の屋外で練習したりしています。通常どおりの活動再開ができるかどうか、第3回検討会議（7月7日開催予定）で話し合う予定です。

使用する器具・用具の消毒については、あまり神経質にならないようにし、活動後の手洗い等に重点をおいています。



Q13 唾液中にウイルスがいることが分かっているのに、学校でうがいや歯みがきをして大丈夫ですか？

無症状の感染者の唾液からウイルスが排出されていることは分かっていますが、「検出=感染能力がある」ということではありません。新型コロナウイルスにおいても、これまで洗面所等から感染拡大したという報告はありません。

子どもにとって、新型コロナウイルスより感染力の強いインフルエンザ流行時も、感染予防のために学校での歯みがきを止めてはいませんし、むしろ感染予防のためには、口腔内の清潔を保つことが重要であると考えられます。

本検討会議としては、「吐き出す際にむやみに周囲に飛ばさないこと」「歯みがきのあとは手洗いもすること」を、検討会議だよりVOL.3のQRコード資料でもお伝えしています。

洗面所の消毒については、①消毒用エタノール ②次亜塩素酸ナトリウム ③効果が確認された界面活性剤を含む洗剤のいずれかを使用することとしています。

※ご家庭の消毒についても、製品評価技術基盤機構（nite）のHPを参考にしてください。



Q14 児童生徒によるトイレ掃除を再開しても大丈夫ですか？



検討会議だより VOL.2 の中で、「感染者の便中にウイルスが含まれていることが分かっているが、そこに感染力があるかどうかはまだ不明である」とお知らせしました。その後も様々な論文等を精査しましたが、各国で便を経由した症例の増加はみられてはいません。市内の感染状況も落ちついていることから、現状では学校のトイレにウイルスが存在する可能性は極めて低く、通常の掃除に戻しても問題はない状況です。

今後も感染経路に関する情報に注意しつつ、富山市の感染状況や各学校の実態に合わせて、適宜対応していく方針で良いと考えます。

Q15 心身のバランスを崩している子が増えているという報道を目にしました。そのような心配がある場合は、どうしたらよいのですか？

通常でも、新学期は環境が変わり不安定になりやすい時期です。加えて、6月の学校再開後は感染予防のためのたくさんの行動制限もあり、子どもたちにとって我慢の日々が続いています。

5月末から「眠れない」など情緒不安定な子どもが出始め、6月に入って、「頭痛」「腹痛」「吐き気」「微熱」等の不調を訴える子どもたちの受診が増えているようです。生活リズムの乱れやストレスにより、心のバランスを崩していることが原因だと思われます。

お子さんに気になる様子が見られた場合は、かかりつけ医にご相談ください。学校では担任や養護教諭（保健室）が相談窓口になります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携して対応していますのでご安心ください。

富山市保健所でも、7月から予約制の「新型コロナウイルス感染症に対応したこころのケア相談」を開設しました。お気軽に電話予約（TEL 4 2 8 - 1 1 5 2）のうえ、ご利用ください。

たくさんの方の目で、子どもたちを温かく見守っていきましょう。



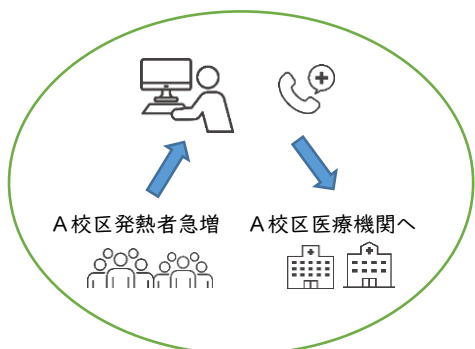
国立成育医療研究センターHP (www.ncchd.go.jp) に、「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」の特設ページが設けられています。その中に、⑧子どもと関わる大人の方へ～子どもの自律神経とストレスへのお話～が掲載されていますので、ご一読ください。

Q16 対策が解除されて、子どもたちが日常を取り戻せることはよいのですが、他県での感染報道を見ると時期尚早なのではないかと不安もあります。子どもたちの健康を守る取り組みは、十分に行われていますか？

富山市立の幼稚園、認定こども園、小・中学校では、感染症発生状況や病欠者の症状等をインターネット上で共有する「学校等欠席者・感染症情報システム」を利用し、毎日、学校医、市保健所、市教委とで情報共有を図っています。どの地域で欠席者が多いのか、どのような症状が増えているのかなど、変化する感染の情報をいち早く共有することにより、早期の予防対応や感染拡大防止に役立てることが可能です。

本検討会議の医療メンバーでもその情報を共有し、学校感染対策解除と感染拡大の関連がないかモニタリングしています。

変化が認められた場合は、地域の小児科医と連携することも想定しており、感染危機対応も順次進めています。



このリーフレットの内容については、必要に応じて改定することもあります。
【事務局】富山市教育委員会 学校保健課(TEL 443-2136)